

# 邇摩高校PTA広報

# Yurinoki

# 高百合樹



第 36 号

令和 6 年 3 月 1 日  
島根県立邇摩高等学校PTA

## ユリノキ

本校が明治36年、大森町に創設された際に植栽された由緒ある樹木である。創立100周年の記念樹としても採用された。

### PTA会長あいさつ

「卒業生の皆さんへ」

久保 孝次



「卒業おめでとう  
」  
「保護者の皆様、  
」  
「ご家族の皆様、お  
」

子様のご卒業、誠におめでとございます。そして、三年間、子供たちを支え、指導頂いた邇摩高校の教職員の皆様、心より感謝申し上げます。

皆さんの高校生活はいかがだったでしょうか。コロナウイルス感染症も5類へ移行し学校行事、部活動も昨年とは違ったものになっていったのではないのでしょうか。

「やさしさは想像力」

これは、昨年の全国高等学校PTA連合大会で仙台育英の須江航監督の講演を聞いたことがきっかけで監督の著書からの言葉です。

「人に言葉を届け、人の心を動かすには愛情ややさしさが絶対に欠かせない」

皆さんは学校や家庭ではいろんなやさしさに触れてきたのではないのでしょうか。その優しさには意味があったと思います。

そこにあつた意味はどうだったでしょうか。少し思い出してみてください。

これからは、社会に出ていかれるわけですが、わからないこと、知らないことの方が多いいのではないのでしょうか。

か。高校での三年間もそうだったでしょうか。少しづつ、体験することを通して皆さんは成長されてこられたと思います。仲間が困っていたら声を掛け、一緒に泣いたりしたこともあったでしょう。かけがえない時間をこれから大事に進んでいかれること、陰ながら応援させていただきます。

最後に、校長先生をはじめ、教職員の皆様、PTA役員・評議員の皆様、本年度もPTA活動にご協力いただき、無事に一年間、運営を行うことができました。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

### 校長あいさつ

「二十七期生の皆さんへ」

渡邊 勝義



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。保護者の皆様、

お子様のご卒業おめでとうございませう。皆さんが本校での三年間の生活を経て、新たな未来に向かって飛び立られることを心からお祝いいたします。

卒業生の皆さんは、邇摩高校総合学科二十七期生として入学され、入学当初からコロナウイルスの影響を受けてきました。コロナ禍の学校生活では、

様々な制限の中で窮屈な思いをしてきたのではと推察します。しかし、令和五年五月八日から新型コロナウイルス感染症の位置づけは、いわゆる二類相当から五類感染症になりました。今まではコロナ禍において多くの制約に悩まされていたことが通常の生活にもどる逆に必要なことに気づく時間になったのではありませんか。当たり前に思っていたことがそうではないこと、人と人とのつながりの大切さ、授業や部活動、学校行事など一つ一つが本当に貴重な時間であることを実感したと思います。

三年生の皆さんが進学に、就職に立っていきます。どこで何を学ぶのであろうと、どんな仕事に従事するのであろうと、「平凡な日々の細部の積み重ね」が生きていく上で大切ではないでしょうか。みなさんには、普段隠れている、見えない行為にも誠意をもってとりくむことのできる、そんな人になってほしいと思います。また、ほかの人の隠れた行為にも気づいて感謝できる心もぜひ育ててください。

二十七期生の皆さんが、新しい環境でそれぞれの力を存分に発揮していくことを心よりお祈りしています。そして、将来、この地域を支え活躍する人材になってくれることを期待しています。



卒業生保護者より

「卒業」

PTA副会長 栗山 敬子  
 ご卒業おめでとうございます。部活で頑張っている姿や楽しそうな学校の話に親として嬉しい気持ちでした。これから始まる新生活では、様々な壁に突き当たることもあると思います。自分が本当にやりたい事を見つめたり、自分らしく生きていくために必要なことばかりなので、前を向いて、どんな時でも楽しめる心を育ててください。最後に深い愛情をもってご指導下さいました校長先生をはじめ、先生方に心より感謝申し上げます。



全国高等学校PTA連合会大会（於：宮城県）  
 右：中澤教頭  
 左：久保PTA会長

「卒業おめでとうございます」

PTA評議員 長谷川 淳  
 卒業生の皆さん、保護者の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活の大半がコロナ禍の中だった事もあり度重なる休校、楽しみのはずのイベントや部活の大会等の中止や規模縮小で青春を謳歌できなかった世代かもしれないですが、皆さんの過ごした邇摩高校での三年間は今後の人生でプラスになるものだと思います。進学就職とこの先は様々な道に進む事になると思いますが皆さんの新たなステージでの活躍をお祈りしております。

「卒業おめでとう」

PTA評議員 永井 智恵  
 卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。三年前の入学式を懐かしく思い出します。

「友達できたかな」「列車に間に合ったかな」と心配した一年生、親の思いとは別に、楽しく帰って来てましたね。二年生、進路に悩みたたくさん考えました。

三年生では、心身共に成長をし、どんな問題にも力強く、自分で向き合い判断し行動できるようになりました。

三年間の学校生活で学び経験したこととは、一生の宝物です。これからの新生活に向け頑張ることができると信じています。

最後に三年間ご指導して頂いた先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。

教職員より

「卒業おめでとう」

三年学年主任 小村 智子



ご卒業おめでとうございます。百二十周年記念式典で、桑山紀彦さんによる「地球のステージ」が上演されました。映像を通して出会う人たちの表情や人のつながりの温かさ、桑山さんの情熱あふれる

「卒業おめでとう」



文化祭 PTA バザー



語りと歌にいつも引き込まれます。皆さんの中にも「とても感動して後でホームページを見ました」と知らせてくれた人がいました。戦争や災害で、子どもを含む多くの人が過酷な状況に置かれていきます。桑山さんはガザ地区の人の「飢えや渇きより怖いのは、世界から忘れ去られてしまうこと」という言葉を胸に、現地での医療活動や心のケアとともに、今世界で起こっていることや人の言葉を伝えておられます。私たちが関心を持ち続けることで人がつながり、状況を良くすることができるとのようです。

「愛」の対義語は「憎しみ」ではなく「無関心」だといっています。桑山さんのように、すぐに、また直接役に立つ行動は起こせなくても、大きなことではなくても、周りの人の気持ちやできごと



「贈る言葉」  
三年一組担任 井戸 朋子

世界史や日本史を勉強していると、先人たちが発した多くの言葉に出会いま

す。歴史は、未来のための学問で、私たちが未知の世界を歩んでいく上で、困った時のヒントを教えてくれます。卒業する皆さんへ、就職や進学先で困った時、先人たちが残した言葉を参考にしてみるのはいかがですか？「まことに仁に志せば、悪しき事無し（孔子）」

とに心を寄せ、自分にできることを考えてみる。その思いは行動となり、相手に伝わって、あたたかい社会や世界を作る一歩になるのだと改めて思ったステージでした。卒業生の皆さんが、新しい場所であたたかな関係を作り、幸せであるように心から祈っています。また顔を見せてくださいね。

### 「土を作り、種を蒔く」

三年一組担任 三崎 忠幸



三年間、皆さんの学年の担任をさせていただきました。私は、農業教員です

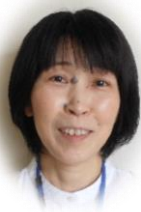
から入学式の時こんな話をしました。「この三年間は、みんなにとつてしっかりと

「後ろを振り向く必要はない。あなたの前には、いくらでも道があるのだから（魯迅）」「下を向いていたら、虹をみつけることはできないよ（チャールズ・チャップリン）」「夢なき者に成功なし」・「過ちがないことではなく、過ちを改めることを重んじよ」（吉田松陰）「想像力は知識よりも重要（アルベルト・アインシュタイン）」。「横を見るな（他人と比べない）、縦をみる（自分の成長を大事に）！（?）」「実り多い人生となることを願っています。卒業おめでとう。」

とした土を作り、種を蒔く期間です。良い土を作れば、そこで何を育てようとしてしっかり育ってくれます。そしてその種は実り豊かなものになるはずですよ。・・皆さんは三年間で自分自身の土づくり（経験や学び）はできましたか？そして、蒔いた種は、自分が思い描くような花や実（夢や進路実現）を結んだでしょうか？入学当初、まだあどけない姿の皆さんの姿を思い出します。この3年間、近くで皆さんの姿を見てきて、本当に成長したことを実感しています。この学年は、個性豊かで

### 「卒業生の皆さんへ」

三年三組担任 岩 墨



ご卒業、おめでとうございます。この一年は卒業に向けて、卒業後の進路に

向けて、努力した一年だったことと思います。高校の卒業は皆さん自身の努力はもちろんですが、周囲の人の支えがあつてこそ成し遂げられるものであります。今年の元日に能登半島地震が起きました。被災された方の中には皆さんと同じ年代の方も大勢いらつしやう。将来に向かって夢を膨らませていたことと思います。その日常が震災により一変しました。何気ない日常の中にある幸せが当たり前ではないことに気づき、周囲への感謝の気持ちを忘れ

賑やかながらも、気のいい優しい学年だったと思います。卒業を迎える皆さんは、この3年間で彩り豊かな素晴らしい花を咲かせたと思います。これから、皆さんはそれぞれの新しい場所での新しい生活が待っています。その場所、しっかりと土づくりをし、種を蒔き、素晴らしい花を咲かせてください。みなさんのこれからの活躍を期待しています。ご卒業、本当におめでとう。

ずに過ごして欲しいと思います。

古い話になりますが、大学4年生の時に阪神淡路大震災が起こりました。当時関西に住んでいたので地震の恐怖を体験しました。幸い私が暮らしていた街は被害が少なくすぐに日常に戻ってきましたが、居ても立ってもいられず神戸にボランティアに行きました。ボランティア先で目にしたのは瓦礫の山、変わり果てた街並み。一瞬にして神戸の街が崩れた様子を目の当たりにし、心の底からの恐怖と日常の危うさを痛感しました。いつ、どこで、何が起きるか予測できない日々を生きています。だからこそ、皆さんには日々を大切にして過ごして欲しいと思っています。自分の夢を大切にしたい。そして体を大切にして活躍して下さい。

卒業生より

「協力すること」

三年一組 永田 寛人

邇摩高校での三年間は、たくさん仲間との出会いと多くの経験を積み重ね、自分自身が成長することのできるものでした。仲間と多くの場面で協力し、支えあつてきた日々は、高校生活の思い出となるとともに、自分の財産になるものだったように思います。部活動や学校行事を通して、学年を超えて交流してきたことや地域の方々の交流など、邇摩高校でしか経験できないことを学ぶことができました。これらの学習や活動には、いつも近くに仲間がいて、協力して乗り越えてきたことや学んだことは自分自身の力になったと思います。

四月から、それぞれが新しい道に進み、苦労することもあると思いますが、これまで学んできた「協力すること」の大切さ、楽しさを忘れずにこれからの生活に活かしていきたいです。邇摩高校で出会えた、たくさん仲間と協力し合った日々を誇りに思います。多年間本当にありがとうございました。

「恵まれた三年間」

三年二組 石橋 結生

地元中学校からは私一人で、友達もいない状況で邇摩高校へ入学しました。当初は慣れない環境と寂しさから

楽しいと感じられず、不安な毎日でした。ですが二年間を振り返ってみると、部活動に熱中でき、周りの友達や先生にも恵まれキラキラした高校生活を送ることができました。

四月からは新しい環境でのスタートになります。高校での学びを活かし、自分らしくをモットーに仕事にやりがいをもって頑張ります。

邇摩高校での三年間、本当に楽しい思い出ばかりでした。みんなありがとう。

「三年間の学びを通して」

三年三組 寺本 一葉

高校三年間は、長かったようであったという間だったなと思いました。入学したときは、今までと環境が変わり不安なことだらけでした。しかし、部活動を始め学級活動や学校生活を通していくなかで友達も増え、少しずつ学校生活にも慣れてきました。二年生から始まった系列では、医療系専門学校に進学したかった私は文化系列に入りました。座学中心の授業で授業やテストの内容も複雑なものが多く勉強は日々の積み重ねだと実感しました。

仁心祭や邇摩高フェアでは、学級や系列で協力し良い思い出になりました。三年間、支えてくださりありがとうございました。

高校卒業後は、三年間で学んだことを活かし専門学校では学業に専念して頑張っていきたいです。



PTA 総会 (加工品販売) ↓→



PTA 総会

PTA 総会の様子 ↓



生徒会より

「卒業生の皆様へ」

生徒会長 岩谷 啓一郎

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。私は、学校生活や部活動、生徒会活動など様々な場面で大変お世話になりました。

先輩方はとても仲が良く毎日笑顔が絶えない集団だと思ひます。楽しむときは盛大に楽しみ、やるときはしっかりとやる。そのような姿がとてもカッコいいと思ひます。これからは私たち二年生が最高学年として邇摩高校を引っ張つていこうと思ひます。二年間ありがとうございました。これからの皆様のご活躍をお祈りしてあります。